



日本学生氷上競技選手権

1月6日(日)～9日(水)に、細尾ドームリンクや霧降スケートセンター、県立霧降アイスアリーナ、宇都宮市スケートセンターを会場に、日本学生氷上競技選手権大会が開催されました。

日光市内の3会場では、全国の大学から選出されたスピードスケート、アイスホッケーの精鋭選手が、持てる力を発揮して、勝敗を競いました。



日光市駅伝競走大会



12月16日(日)に開催された、市駅伝競走大会。冷たく強い風が吹く冬の日光路を、259名の出場選手がたすきをつなぎました。

7チームが出場した一般の部・支部対抗と、18チームが出場した一般の部・オープン、午前10時に日光総合会館前をスタート。連覇を狙う支部対抗の大沢支部が1区で首位に立ち中盤までリードを保つも、最終7区で逆転した今市支部が2年ぶりの優勝を果たしました。

今市支部の7区を任された池田敬生さん(作新学院高3年)は、「前を走る大沢支部の選手を、絶対に抜く気持ちで走りました。昨年優勝を逃した悔しさもあって頑張れました」と、喜びの声を聞かせてくれました。

またオープンでは白鷗大学が、14チームが出場した中学校対抗の部では今市中学校陸上部が、それぞれ優勝しました。



ゆず湯風呂キャンペーン

12月21日(金)・22日(土)の2日間、鬼怒川・川治温泉郷でゆず湯風呂キャンペーンが行われました。これは冬至に合わせ、血行促進効果のある柚子を風呂に入れ、体の芯から温まってもらおうと鬼怒川・川治温泉観光協会が始めたものです。

2日間で使われた柚子の数は約3万個。各ホテルや旅館、足湯などがゆず湯風呂になり、多くの観光客の体を温めていました。



日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会

12月22日(土)～24日(月・祝)、霧降アイスアリーナと細尾ドームリンクの2会場で、第7回日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会が開催されました。日光市在住の選手を中心とした栃木県選抜チームは、初日の予選で北信越選抜チームと2試合を行い、1試合目は2対2の引き分け、2試合目は7対1で大勝利、決勝トーナメントに駒を進めました。



翌23日に行われた決勝トーナメント1回戦の相手は、青森県選抜チーム。栃木県選抜チームは、第1ピリオドをリードして終えましたが、続く第2、第3ピリオドに相次いで失点を許し、2対4で惜敗しました。会場に集まった観客からは、気迫あふれるプレーに惜しめない声援が送られていました。優勝は、延長の末接戦をものにした、釧路選抜チームでした。



美術館のお正月

1月1日(火・祝)～3日(木)に、小杉放菴記念日光美術館で、「2013 たのしいお正月」と題し、年始特別開館が行われました。エントランスホールでは、双六やお手玉、独楽まわし、だるま落とし、飛行機飛ばしなどの昔懐かしい正月遊び体験や、無料の風船福引きが催されました。

お父さんと一緒に参加した宇都宮市の高橋明叶君(4歳)は、「飛



行機飛ばしがとてもおもしろかったです」と、目を輝かせて話してくれました。

また、展覧会「日光市新収蔵記念 美しき日本の風景 国立公園の絵画展」も、元旦から始まりまし

た。この展覧会は、平成23年度をもって解散した財団法人国立公園協会から寄贈された、国立公園をテーマに描かれた絵画80点を紹介するもので、4月7日まで開催されています。



今日の表紙

除夜撞鐘



平成24年12月31日(月)の午後11時45分から、日光山輪王寺で護摩の炎に祈りを込め一年間の厄災を焼き払い開運を願う野天大護摩供が行われました。

1月1日の午前0時になると、輪王寺の鐘楼から除夜の鐘が鳴り響き、鐘を打った人たちが周りにいた参拝客は、新年への願いを込めて、静かに手を合わせていました。



日光二荒山神社のおみくじ結び所



日光東照宮の表門